

寄附趣意書

～沖縄の子どもの貧困問題に取り組むボランティア学生の活動支援～

一般社団法人大学コンソーシアム沖縄
代表理事 砂川 昌範
子どもの居場所学生ボランティアセンター
センター長 田中 寛二

沖縄の子ども達を取り巻く環境は、極めて深刻な状況が解消されていません。沖縄県が平成27年度に実施した実態調査では、子どもの貧困率が全国平均の約3倍、すなわち3人に1人が貧困状態にあることが明らかになりました。この課題に対応するため、平成28年から内閣府は「沖縄子どもの貧困緊急対策事業」を、沖縄県もそれと関連する事業を行っています。特に、子どもの居場所の運営が円滑に進むようにという観点から、県内の高等教育機関に在籍する学生を有機的に子どもの居場所におけるボランティアとして活用するために、平成28年4月に一般社団法人大学コンソーシアム沖縄内に「子どもの居場所学生ボランティアセンター」（以下、本センター）が設置されました。

具体的な本センターの役割は、貧困の状況にある子ども達が利用する「子どもの居場所」において、沖縄県内の大学生等が自発的な意志に基づき、学習支援等の活動を円滑に行えるよう、ボランティア学生の派遣に関するコーディネート業務です。

派遣される学生ボランティアは、子ども達にとって年齢の近い身近な「お兄さん・お姉さん」として、精神的な安心感を与える存在です。一人ひとりの子どもの状況に寄り添ったサポートを提供することにより、自己肯定感が育まれ、学習意欲や生活リズムの改善、さらには学校生活や社会活動への参加意欲の向上といった効果が期待されています。また、ボランティア活動に参加する学生たちにとっても、子どもたちと接する貴重な体験を通して、多くのことを学ぶ機会となっています。これらが、学生ボランティアが本事業に参加する大きな意義です。

また、本事業における学生ボランティア活動は、活動開始後も安定して継続できるよう、有償としています。その謝金には、主に、県民の皆様からのご寄附を活用させていただいております。

つきましては、本趣旨にご賛同いただき、学生ボランティアの意義をご理解のうえ、活動支援としてご寄附を賜りますよう、心よりお願ひ申し上げます。

なお、ご寄附をいただいた皆様のご芳名等につきましては、本センターのホームページ等にて掲載・公表させていただく予定です。